

No.	総会資料	ご質問・ご意見	所管課	回答
1	5ページ	前年度（令和4年度）に比較して、資料作成に少し改善を感じた、更によくするための指摘です。 「1秦野市自治会連合会（本部）の活動」の「(1)主な取組み ③行政との協働施策の検討・提言・実践」について、企画会や役員会の日程や成果は何か？を記載したほうが良い。	市民活動支援課	企画会及び役員会は、月1回（8月は除く）開催しており、防災訓練や美化清掃等の各種行事の運営や実施方法等について、過去の実施を踏まえ、円滑に実施できるよう検討・協議しています。内容が多岐にわたることから、具体例を挙げるなど主な内容を記載していきたいと考えます。
2	6ページ	「⑦視察研修の実施」について、重点を置いたヒアリング内容を記載する。また、単位自治会へ内容を展開するよう要請する。	市民活動支援課	今後、視察研修の概要は、市ホームページで公開することで、単位自治会も閲覧することができるよう改善していきたいと考えます。
3	6ページ	「2地区自治会連合会、単位自治会の活動」について、全般に「単位自治会活動」の記載は不要である。地区自治会連合会の方針（単位自治会向け）に対する結果を記載する。	市民活動支援課	秦野市自治会連合は地区自治会連合会、さらに単位自治会から組織され、これらの活動全体が市自治会連合会の活動とも言えることから、記載が不要とは考えていません。また、市自治会連合会から地区自治会連合会の方針（単位自治会向け）に対する結果は、連携して実施した内容が一つの結果となりますが、具体的な記載等はもう少し分かりやすいよう工夫していきます。
4	6ページ	「令和5年度秦野市自治会連合会活動報告」の「②防犯対策活動の推進」とあったが、具体的にどの地域がどんな活動を行ったのか教えてほしい。	地域安全課 市民活動支援課	地域の防犯活動とは、「自分たちのまちを自分たちで守ろう」という防犯意識のもと、地域ぐるみで犯罪の起きにくい環境づくりに取り組む活動をいいます。具体的な活動内容は、各地域で異なるところもありますが、「防犯パトロール、防犯広報（啓発活動）、防犯指導、危険箇所の点検」などが行われています。
5	7ページ	「③交通安全対策活動の推進」と「⑥日本赤十字社神奈川県支部秦野市地区及び秦野市社会福祉協議会との協働・協力活動」について、日程や件数を記載したほうがよい。	地域安全課 地域共生推進課 市民活動支援課	御意見は参考とさせていただくとともに、内容が非常に多岐に渡ることからまとめた記載とさせていただきます。
6	7ページ	「⑤高齢者福祉活動の推進」の「敬老会開催方法及び敬老祝い品について協議した」とあるが、協議の結果、今後の方針を記載したほうがよい。	高齢介護課	昨年開催しました秦野市敬老事業検討懇話会における協議を踏まえ、地区社会福祉協議会が実施する敬老事業については会場での敬老会開催だけでなく品物贈呈を正式に敬老会運営費交付金の対象としました。 また、秦野市が贈呈する敬老祝い品については「生涯を通した木とのふれあい」の考えから、秦野産材を活用した品物に変更します。 なお、敬老事業の対象年齢の引上げ及び90才以上夫婦へのお祝い品の見直しについては、継続して検討が必要な事項となりましたので、今後も検討を重ねてまいりたいと考えております。

7	7ページ	「3 令和6年能登半島地震災害義援金」について、日程を記載したほうがよい。また日本赤十字社でのお金の流れを記載したほうがよい。	市民活動支援課 地域共生推進課	各自単位自治会により異なりますが、2月から3月にかけて災害義援金の募集活動に御協力いただきました。 寄附された災害義援金の主な流れは、協力を依頼した組回覧文書や領収書に掲載し、また、日本赤十字社のホームページにも詳細が掲載されていますが、「秦野市自治会連合会→日本赤十字社神奈川県支部秦野市地区→日本赤十字社神奈川県支部→日本赤十字社本社→被災した都道府県の義援金配分委員会→市町村等の自治体→被災された方々」となります。御意見は、今後、参考にさせていただきます。
8	7ページ 11ページ	例年開催している敬老会、ここ数年は実施方法を変更して記念品（商品券・お茶等）を配布しているが、年々配付件数が増加している。一方、助成金額は、現状維持または減額傾向である。令和5年度沼代地区の高齢者一人当たり400円程度の記念品が配付できない状況である。記念品を受け取る高齢者から見ると、ありがたみに欠ける。一方、配付する自治会も準備が大変である。市の方で、一括購入して調達し、各自自治会へ配付する等の工夫が必要と思われる。記念品の配付をやめ、8地区の会場にて敬老会行事を復活するよう要望する。	高齢介護課	昨年開催しました秦野市敬老事業検討懇話会での協議も踏まえ、交付金は地域が実施する敬老会または記念品の配布に要する経費に対して、交付することとし、地域の実情により、敬老会開催、品物贈呈を判断して実施していただきたいと考えております。 また、交付金の額については今後も対象者が増加する見込みの中、財政状況など、様々な状況を考慮し、制度を継続していけるように、今後も検討を重ねてまいります。
9	7ページ 12ページ	自治会内において、組長から3募金（日本赤十字社、社会福祉協議会、赤い羽根）の集金における負担軽減を図る取扱い方法の改善策の指導、また、自治会が携わる理由をよく問われます。	市民活動支援課 地域共生推進課	日本赤十字社の活動は、地域福祉、ボランティア活動及び災害発生時の救護活動など、地域と密接な関わりがあります。 また、社会福祉協議会は、社会福祉法第109条を根拠とした社会福祉法人で、地域福祉の推進を図ることを目的としています。 そして、赤い羽根共同募金は、戦後間もない頃（昭和22年）、戦災孤児を預かる民間福祉施設などの資金不足を補うために町内会に協力を求める形で開始された募金活動を制度化したもので、現在では、社会福祉を目的とする事業活動を幅広く支援することを通じて地域福祉の推進を図るものとして位置付けられています。 このように、いずれも地域と密接な関わりがあることから、自治会の皆さまに、御協力をお願いしているものです。
10	8ページ	「令和5年度秦野市自治会連合会決算書」において、地区自治会連合会へ補助が支払われていますが、南地区連合会へは、いくら支払われていますか。	市民活動支援課	秦野市自治会連合会から南地区自治会連合会へは154,940円が支払われています。
11	8ページ 13ページ	研修会費の内訳を記載してほしい。	市民活動支援課	御意見を参考に、掲載を工夫します。
12	8ページ 13ページ	「令和5年度秦野市自治会連合会決算書」において、日赤秦野地区募集協力事務費が秦野市自治会連合会へ50万円支払われていますが、支払理由及び金額の決定方法を教えてください。	地域共生推進課	日赤会員増強運動（日赤募金）については、毎年度初めに、日赤が行う災害援護事業や救急法の普及活動、ボランティア団体の育成のために自治会の御協力をいただいています。こうした自治会の御協力に対して、予算の範囲内において、日赤の地域福祉活動費として、自治会連合会に支出しています。

13	10ページ 12ページ	新年度の事業計画は、もっと説明したほうが良い。	市民活動支援課	御意見を参考に、より分かりやすい説明となるよう工夫します。
14	10ページ 12ページ	「令和6年度活動計画(案)」は、内容が全般に不明確である。日程内容を具体的に、あれもこれもでなく、重点項目は何か?を記載する。方針の項目と活動計画(案)につながりを持たせる。	市民活動支援課	日程等の詳細は、総会時点で、決定していないものが多いため、具体的には掲載が困難ですが、決定している場合は、具体的に明記するよう努めます。
15	11ページ	「令和6年度秦野市自治会連合会活動計画」の「②防犯対策活動の推進」は、具体的に何を行う予定ですか。	地域安全課 市民活動支援課	上記の回答のとおり、今年度も、同様の活動を引き続き実施するものです。
16	12ページ	単位自治会の活動報告で募金と社会福祉協議会の内容を一括で記載されていますが、使用目的が異なる。別項目で報告したほうが良いと思います。	市民活動支援課	別項目で掲載します。
17	13ページ	収支予算(案)の作成は、項目として、本年度予算額は、前年度決算額に対して作られるものではないでしょうか。前年度予算額に対して、本年度予算額を比較するだけでは予算の妥当性を判断することは難しいと思われませんが、いかがでしょうか。(同趣旨の質問複数あり)	市民活動支援課	お寄せいただいた御意見の考えもありますが、これまで、市の予算書に準じて、本年度及び前年度の予算額の比較を掲載しています。本年度予算額と前年度決算額との比較を求める御意見がほかにもあることから、今後、前年度決算額の掲載もしていきたいと考えます。
18	—	自治会及び防犯協会の総会の時間配分について、2つの総会を行って、12時を過ぎるのはいかがでしょうか。来賓の挨拶だけで30分近くかかっている状態を改善できないでしょうか。一人当たり2分位にするとか。(国の懇談会でも時間制限を設け、マイクの音量がしぼられる等もある)。是非、時間配分を考慮した運営をお願いできませんでしょうか。	地域安全課 市民活動支援課	今後、時間配分に留意するとともに、円滑な進行に務めます。
19	—	震生湖誕生100周年は秦野市として、インパクトのあることではなかったようである。南地区の住民としては残念である。何だったのかという感じ。市としてどのように対応したのか。	生涯学習課	震生湖誕生100周年に当たっては、貴重な文化資源が誕生したという点では祝賀的に捉えつつも、同時に、関東大震災の痛ましい記憶を宿すものでもあることを念頭に置き、地元の方々にも参画いただき設置した「秦野市震生湖100周年記念事業検討懇話会」からの御意見を踏まえ、記念事業の検討・準備を進め、現地見学会やはだの歴史博物館での企画展のほか、公民館での関連事業等を実施してまいりました。 また、幅広い世代を巻き込む取組として、市内の小中学校においても、文化財・地質・自然遺産・防災など、それぞれの視点で学習に取り組んでいただきました。 そして記念事業の節目として開催した記念式典においては、地域の皆様をはじめとする多くの皆様に御出席いただくことができました。 記念事業を通じて、震生湖によって、「さらに100年後にも、震災の記憶と教訓を伝え」、そして「自然豊かで、皆に愛される震生湖」を後世に引き継いでいくことを再確認することが出来たものと考えています。

20	—	<p>自治会役員の負担軽減、ならびになり手不足の解消のため、単位自治会への具体的対応、指導内容について知りたい。対応指導により、どの程度の負担軽減となったのか。成果として本当に、なり手不足解消が図れたか、結果を知りたい。</p>	<p>市民活動支援課</p> <p>単位自治会の役員負担軽減につながるものとしては、主には、回覧板の回数を月2回から月1回に回数を減らすとともに、自治会交付金と廃棄物減量等推進活動交付金の申請を1本化させ、また、自治会ハンドブックの内容をより充実するよう改訂する等改善を図らせていただきました。担い手不足といった難しい課題に対し、すぐに結果として表わすことはできていませんが、引き続き、自治会の皆様と意見交換しながら、取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、市自治会連合会事務局や市ができることにも限りがございますので、単位自治会においても、皆様による改善の取組が必要と考えています。総会時に配付させていただいた自治会の改善事例集等を参考に、それぞれに取り組んでいただけることを期待しています。</p> <p>なお、単位自治会で取り組まれた改善事例等がございましたら、ぜひ、事務局へ教えていただきたいと思います。</p>
----	---	--	--